

議員行政視察報告

日時
視察先
参加者

令和8年2月4日～5日
岐阜県可児市、静岡県袋井市
寺嶋 正、飯田 一、南雲まさ子、井上栄一、田代 実、平野由里子、古谷星工人、
秋田谷光彦、中津川定雄、吉田 功、武尾哲治、北村和士

可児市

議会改革

可児市議会は、議会の見せ方だけではなく、熟議という本質にこだわった議会改革を推進していることで知られている。人口規模は松田の10倍弱で議員定数も22名、市と町とでは単純に真似をすることはできないが、議会の本質、つまり住民の



可児市議会議場にて

分科会での

明・質疑の

全体説の

重複回の

書を中心

点検報告

重点事業

を重視し

ており、

②議長

と監査を

除く全員

で予算決

算委員会

を構成。

決算審査

を重視し

ており、

重点事業

市民の意見も取り入れ執

行側への提言を提案、全

体会に戻って討論・採

決・提言取りまとめ。予

算では提言が反映されて

いるかも含め、説明・質

疑・討論・採決。これを

年間サイクルとしている。

③会派制をとっている

が会派代表質問はない。

しかし委員会活動で市民

の意見も吸収しながら調

査研究する中で、必要が

生じると委員会代表質問

をする。熟議を経て全員

一致で出すので、一人の

議員がやる一般質問より

重みがある。

④公聴の充実の前提と

して広報も力を入れている。

公聴は何通りも工夫

手か令和6年度から始ま

っている。議員研修に一

般市民も参加できるもの

もあるというのも興味深

い。

袋井市では、一使用す

る野菜の3分の1は市内

産」という目標を総合計

画の取組目標に設定。令

和6年度の地場産物使用

実績は、購入金額ベース

で約2900万円、全体

の35%に達しています。

また、市内2か所に保

管倉庫(冷蔵・冷凍・常

温)を確保し、大量に収

穫された野菜は夏休み等

を活用して加工保存(炒

め玉ねぎ、トマトピュー

レ、切干大根など)。収

穫期だけで終わらせず、

年間を通じて安定利用に

つなげています。さらに

野菜くずは堆肥化し、そ

の堆肥で育てたさつまい

も等を給食に活用する循

環型モデルも構築されて

いました。

加えて、給食センター

の一部を民間に貸し出し、

稼働力の導入も検討。

新潟県見附市では年33

00万円の賃料を将来の

修繕費として積み立てて

いる事例もあるとのこと。

公共施設も発想次第で未

来への投資原資を生み出

せると感じました。

地産地消は理想論では

ありません。目標を掲げ、

数字で管理し、現場と信

頼関係を築く。その積み